

7.3 優先度評価法の検討

優先度の評価のしかた・考え方について、当自治体の盛土造成地に適した評価手法を検討し、選定する。

図 3.4 は、「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説（平成 27 年 5 月）」に示されている優先度の評価フローである。

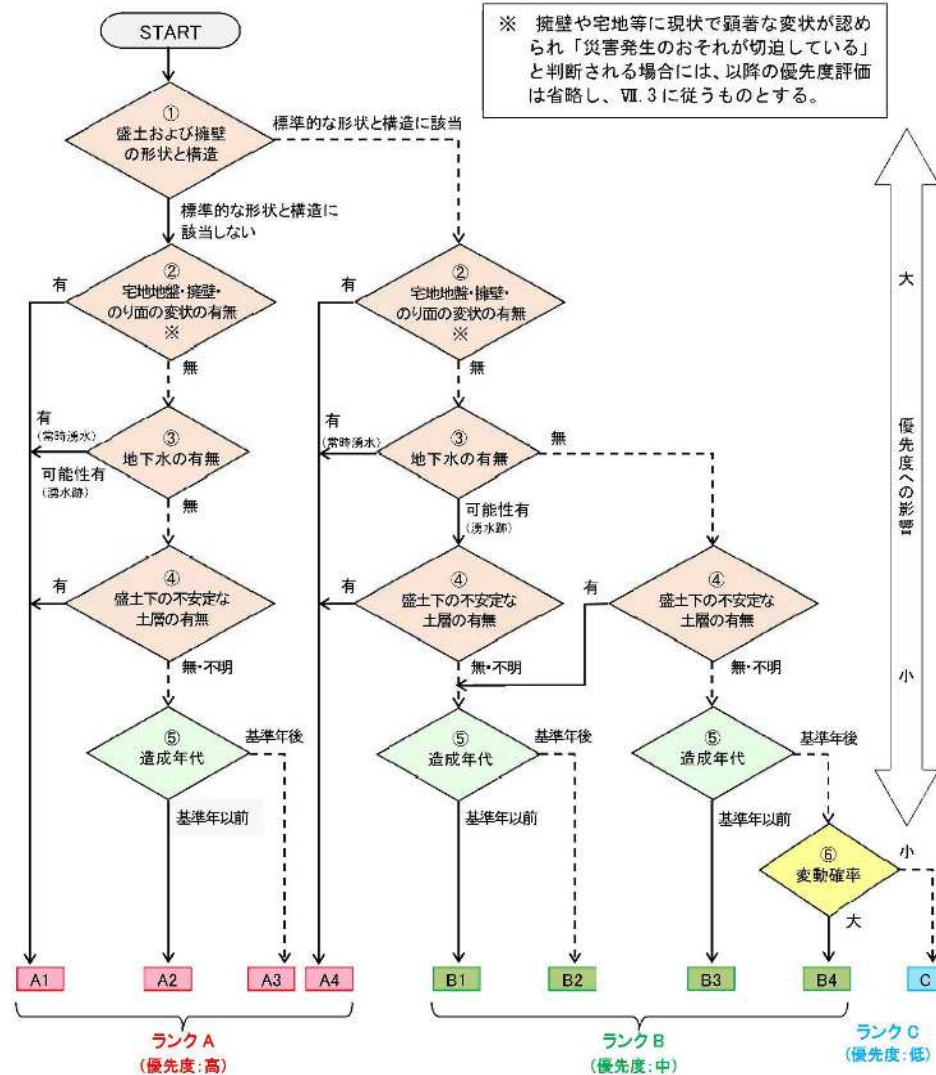


図 V. 3.1 優先度の評価フロー

表 V. 3.1 被害規模のランクの評価(例)

		保全対象の公共施設等の数		
		2 つ以上該当	1 つ該当	該当なし
保全対象の住宅数	〇戸以上	a	b	c
	10～〇戸	b	c	d
	1～9 戸	e	e	e

被害規模の大きさ	大 ← → 小				
被害規模のランク	a	b	c	d	e
滑動崩落が生じた際の被害規模	非常に大きい	大きい	中程度	やや小さい	小さい

※住宅数の区分や保全対象数の基準は、各地方公共団体に判断してよい。

図 3.4 優先度の評価フローおよび被害規模のランクの評価例

「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」（H27.5）p1-82 より